

平成23年度『新湊川にホタルを！プロジェクト』（6号）

（湊川高等学校インスパイア・ハイスクール事業実行委員会）

平成23年4月12日（火）13時30分～15時：会議室

ホタルの幼虫を大きさで仕分けして、大きい幼虫を新湊川に放流する。

- ・第一回目は仕分けを教師がするが、放流は3年の生徒が主体になってドリカム1限目（D1限）の授業です。
- ・第二回目の放流は仕分けから生徒が主体になってドリカムの授業で行う。
- ・昨年実施したホタルのアンケートを基にホタルクラブを発足してはどうか？
- ・1年生のオリエンテーションでもホタル事業について紹介する。
- ・授業では「自然科学基礎」、「社会科学基礎」が教材やホタル事業のアピールなどを準備する。
- ・ホタルの放流は、桜が散って雨が降ってから一週間後が最適な時期である。
- ・カワニナが随分とホタルの餌になって減っているのを補充する。
- ・仕分けした幼虫は、第一次放流分、第二次放流分、蛹化させる分の3通りに使う。
- ・蛹化についてもその方法は、いくつかの方法を試す。
- ・蛹化の後成虫になったホタルから産卵させて第二世代を作る。

平成23年4月26日（火）14時～15時：理科室

1前回の計画通り、理科室で第2水槽のホタルとカワニナを分ける。

- ・ホタルの幼虫は最初100匹投入していたが、今回の仕分けで約半分に減っていた。
- ・同じ時期に水槽で飼育したホタルの幼虫でも大小があった。

2 放流

- ・新湊川にはD2時間目の3年の生徒6名と担当教員が行った。放流したのは大きさ2.5cm以上の幼虫10匹である。
- ・残りの幼虫は新たに第4水槽にカワニナと共に入れている。



これがホタルの幼虫

